

比木賀茂神社の社叢



よみ ひきかもじんじゃのしゃそう

指定 県指定天然記念物

所在地 御前崎市比木

所有者 賀茂神社

指定日 平成9年3月17日



ヒメハルゼミ(雄)



社叢の内部

解説

賀茂神社は、奈良時代の和銅元年に、京都の上加茂神社から勧請されたと伝えられています。

比木賀茂神社の社叢は、鎮守の森として長い間自然のまま大切に保護されてきたことから、植物の種類や量が変化(遷移)しなくなり、この環境条件にあった植物で安定した森となりました。このような森を極相林(きょくそうりん)といい、古代のこの付近の林相を示しています。

社叢には、スタジイを始め、ヤマモモ、ホルトノキ、タブノキ、クスノキなどの常緑広葉樹の大木が茂っており、社会学的には、ミミズバイ - スタジイ群集、ホルトノキ亜群集に位置づけられ、ホルトノキ亜群集としては、北限に近い重要な森です。また、静岡県を分布の限界とする南方系の植物(ヤマビワ、トキワガキ等)や昆虫(ヒメハルゼミ、オオゴキブリ、クロコノマチョウ等)なども生息しており、つる植物が繁茂し、太いつるが大木に巻きついて密林的様相を示しています。このようにつる植物が著しく繁茂している森は、静岡県内では他にはみられません。

